

# IIAS NEWSLETTER

2000年1月発行

## 国際高等研究所

「けいはんな学研都市」

国際高等研究所は、「人類の未来と幸福のために何を研究すべきか」を研究することを基本理念として、新たな学問の創造・進展を目指す「課題探索型」の基礎研究を行っています。

すなわち、人類の未来と幸福にとって不可欠な課題を発掘し、その問題解決に向かっての研究戦略を展開する中で、学術研究における新しい研究の萌芽、或いは新たな学問の立ち上げにより広く世界文化の発展に寄与することを目的としています。

### 目次

#### 国際高等研究所創設15周年記念事業

創設15周年記念式典 / 講演会、創設15周年記念関連事業、記念出版

#### IIASフェロー公開講演会開催報告

(「がんの病理 - がんの早期発見について」：翠川 修・京都大学名誉教授)

米国科学アカデミー総裁ブルース・アルバーツ氏をIIASフェローとして招へい

掲示板 今後の予定 新刊選書

## 国際高等研究所創設15周年記念事業

国際高等研究所が1984年8月22日に創設されて15周年。11月25日の創設15周年記念式典 / 講演会を中心に行、9月中旬から11月末までを記念事業期間として各種イベントが開催された。また、「15年のあゆみ」、「高等研選書」の記念出版も行われた。

### 創設15周年記念式典 / 講演会

11月25日（木）  
14:00より高等研レクチャーホールにおいて、「財団法人国際高等研究所創設15周年記念式典」が挙行された。

新宮康男 理事長、  
沢田敏男 所長の挨拶に続いて文部省、京都府、関経連、奈良先端科学技術大学院大学からの来賓祝辞があり、合わせて関連各界から寄せられた祝電が披露された。

また、高等研の研究事業の進展に寄与した企業、団体、個人に対し、感謝状の贈呈が行われた。

記念式典に続き、15:30より坂井利之 京都大学



名誉教授（高等研学術参与）による「感性・心情を備えたキカイ文明とは」をテーマとした記念講演が行われた。



## 創設15周年記念関連事業 公開講演会



「知的財産市場モデル」

9月13日（月）

北川善太郎（高等研副所長）



「エルニーニョの話」10月9日（土）

都田菊郎（IIASフェロー、ジョージメーソン大学客員教授）



「タンパク質～生命をささえる  
スーパースター」

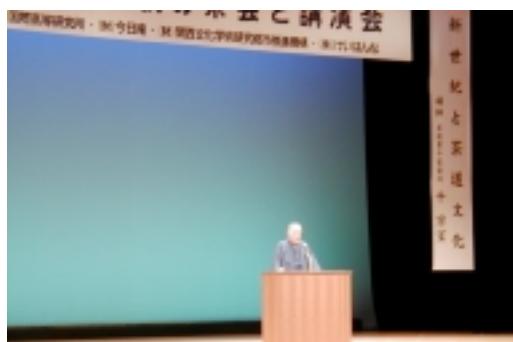
11月13日（土）

京極好正（IIASフェロー、  
大阪大学名誉教授）



「素粒子物理学の100年」11月27日（土）

南部陽一郎（IIASフェロー、シカゴ大学名誉教授）



「新世紀と茶道文化」

11月3日（水・文化の日）

千宗室（茶道裏千家家元）

### けいはんな秋の茶会

11月3日（水・文化の日）

国際高等研究所 雅松庵および  
コミュニティー・ホールにて開催



### 親子サイエンス・スクール



テーマ：「君の不思議を探そう～楽しくて大切な琵琶湖」

10月31日（日）

講師：川那部浩哉（滋賀県立琵琶湖博物館館長）  
他

記念式典、記念講演、関連事業の詳細は「こうとうけんNo.18」にて紹介予定。

## 創設15周年記念出版

高等研創設15周年記念事業の一環として、創設期から現在に至る数々の記録をまとめた「15年のあゆみ」と、「高等研選書」5種を記念出版した。



創設来の記録をまとめた「15年のあゆみ」



「高等研選書」5種

## IIASフェロー公開講演会（1999年9月4日）

### 「がんの病理～がんの早期発見について」開催報告

翠川 修（みどりかわ おさむ）

IIASフェロー・京都大学名誉教授

専門：病理学



IIASフェローの翠川修・京都大学名誉教授の公開講演会「がんの病理 - がんの早期発見について」が9月4日、高等研のレクチャーホールで開かれた。

翠川氏は30年間に10万件を超えるがんの病理標本を研究してきた病理学者の立場から、がん細胞の多様性と転移についてスライドを使ってわかりやすく解説。

がんは早く見つけて、早く治療を開始すれば治る病気になってきたこと、がんにならないためにはバランスの取れた食生活、たばこを吸わないなど国立がんセンターなどが提唱している「がんを防ぐための12か条」（表参照）を守り、がん検診

を定期的に受けることが重要であることを強調し、がん検診の重要性と予防の大切さを訴えた。

（文責・事務局）

#### がんを防ぐための12か条

- 1) バランスのとれた栄養をとる
- 2) 毎日、変化のある食生活を
- 3) 食べ過ぎをさけ、脂肪は控えめに
- 4) お酒はほどほどに
- 5) タバコを少なくする
- 6) 適量のビタミンと繊維質のものを多くとる
- 7) 塩辛いものは少な目に、熱いものはさましてから
- 8) こげた部分は避ける
- 9) かびのはえたものに注意
- 10) 日光にあたりすぎない
- 11) 適度にスポーツをする
- 12) 身体を清潔に



住宅棟に咲く山茶花

## 米国科学アカデミー総裁ブルース・アルバーツ氏を IIASフェローとして招へい

米国科学アカデミー総裁ブルース・アルバーツ氏が2000年1月5日から1月19日まで本研究所フェローとして滞在された。滞在期間中、米国科学アカデミーの日本人会員との懇談、日本学士院訪問、学術政策に関する懇談会、奈良先端科学技術大学院大学におけるレクチャーなどのスケジュールを精力的にこなされた。また、夫人とともに奈良、京都など古都の散策、餅つき、初釜=写真=などの日本文化を楽しまれた。

(文責・事務局)



### 掲示板

#### 今後の予定 (会場は原則として高等研) 2000年2月~2000年3月

月 日	プロジェクト名	オーガナイザー
2月1日(火)	「物質研究における多角的協力の構築」第15回研究会	金森順次郎 (特別委員/大阪大学前総長)
2月17日(木)	「物質研究における多角的協力の構築」第16回研究会	金森順次郎 (特別委員/大阪大学前総長)
2月18日(金) ~ 19日(土)	「環境と食糧生産の調和に関する研究 - 人類生存の視野から」第13回研究会	渡部忠世 (企画委員/京都大学名誉教授)
2月19日(土)	「情報市場における近未来の法モデル」シンポジウム	北川善太郎 (国際高等研究所副所長)
3月10日(金)	IIASフェロー公開講演会 「関西国際空港の建設と海底地盤の難問題」(関西経済連合会と共に)	赤井浩一 (IIASフェロー/京都大学名誉教授)
3月18日(土)	IIASフェロー公開講演会 「地球と仲良く健康に暮らす知恵」	田丸謙二 (IIASフェロー/東京大学名誉教授)

#### 新刊選書：1999年9月~1999年12月

選書No.	タイトル	著者	頁数	発行
選書1	美しいダムと水環境づくり	沢田敏男	49	1999.11.25
選書2	進化遺伝学から見た人類の過去と未来	木村資生	40	1999.11.25
選書3	中国とインド ~社会人類学の観点から~	中根千枝	35	1999.11.25
選書4	大人のためのわかる数学 ~数理哲学序説~	四方義啓	133	1999.11.25
選書5	近未来の法モデル ~近未来から現代を考える~	北川善太郎	74	1999.11.25

#### お詫びと訂正

既刊のIIAS NEWSLETTERに下記のように誤記がありました。お詫びとともに訂正いたします。

- News Letter No.11、1999年度準備研究概要  
(4) 次世代ソフトウェアとの調査研究 次世代ソフトウェアの調査研究
- News Letter No.12、公開事業予定  
11月3日(水)"けいはんな"秋の茶会と講演会 「新世紀と茶の文化」 「新世紀と茶道文化」

#### お問い合わせ

国際高等研究所

IIAS International Institute for Advanced Studies

編集・発行 / 国際高等研究所

〒619-0225 京都府相楽郡木津町木津川台9-3

TEL: 0774-73-4001 FAX: 0774-73-4005

<http://www.iias.or.jp/> e-mail: [www\\_admin@iias.or.jp](mailto:www_admin@iias.or.jp)